

2013年11月5日

各 位

積水ハウス株式会社

**建築家 安藤忠雄氏による発案 20周年の「新梅田シティ」に
四季に応じて表情が変わる巨大緑化モニュメント「希望の壁」完成**

積水ハウス株式会社が、建築家 安藤忠雄氏の発案を受けて、本社のある「新梅田シティ」で工事を進めておりました巨大緑化モニュメント「希望の壁」について、10月31日（木）にその完成を迎え、本日完成披露式を行いました。

この度完成しました「希望の壁」は、開花時期の異なる草木を計画的に配置することによって、四季に応じて表情が変わる高さ9m、長さ78mの斬新な巨大緑化モニュメントです。「希望の壁」が設置された「新梅田シティ」は、「梅田スカイビル」や2006年に北側に創設された、都心にいながら里山の原風景を望むことができ、絶滅危惧種を含む多くの生き物も集う「新・里山」（約8,000㎡）などがある複合施設で、本年3月に20周年を迎えました。「希望の壁」は「新・里山」ともつながり、大阪の街に緑あふれる快適で楽しい、癒しの空間となります。

「希望の壁」の草木は、各地の自生種・在来種を庭に植栽することで、庭や郊外の森や里山をつなぐネットワークを形成して生態系保全を目指す、積水ハウスの取り組み「5本の樹」計画の選定樹種などを中心に植栽しています。また、蝶を招く花木も混植しており、「新・里山」東側の「バタフライ・ガーデン」ともつながる「バタフライ・ウォール」を目指すなど、「新・里山」とともに豊かな生態系を育みます。自然には溪谷やがけなど、立体的な環境が主であり、「希望の壁」は都市での生態系保全の取り組みにおいても新たな試みとなります。

積水ハウスは、「新・里山」と同様に「希望の壁」を子どもやオフィスワーカーなど皆で育てていくことで、人々が緑の大切さ・素晴らしさを改めて体感し、環境活動や生態系保全に関心をお持ちいただく機会を提供してまいります。

**「希望の壁」
(11月4日撮影)**



■ 「希望の壁」概要

所在地：新梅田シティ 東側

規模：高さ9m ・ 長さ78m ・ 奥行3m

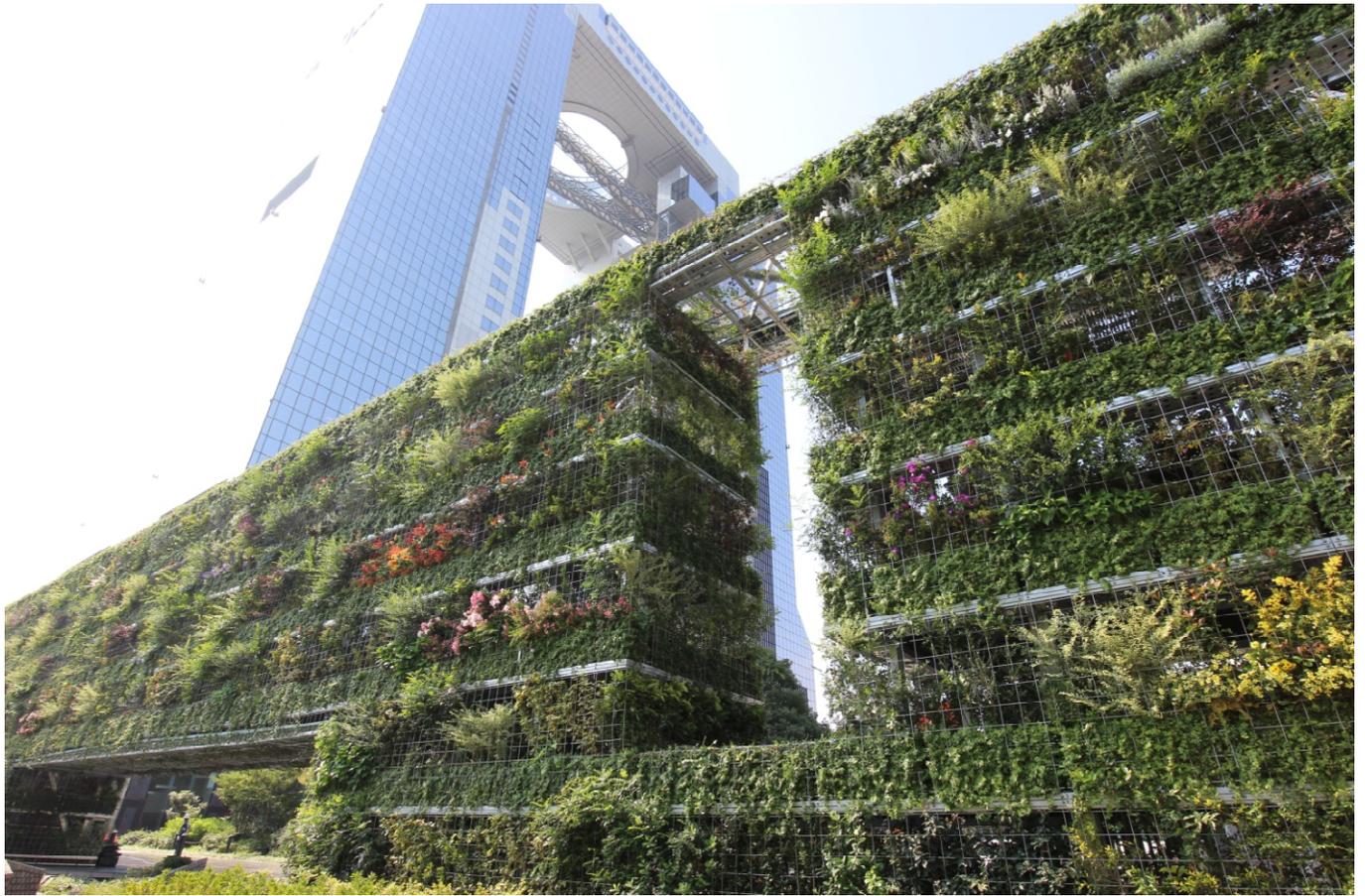
緑化内容：壁の両面は、側面も植物で覆ったプランターで構成。

積水ハウスが進めている「5本の樹」計画での選定樹種であるソヨゴ、クチナシ、ヒラドツツジ、ヤブツバキ、ヤマブキ、フジ、オオイタビなどを中心に約100種類2万本以上の多彩な植物を植栽。

開花時期の異なる草木も植栽して季節を彩ります。

竣工：2013年10月31日（木）

施工：株式会社竹中工務店



「希望の壁」(11月4日撮影)

新梅田シティ全体図

